

高松市創造都市推進懇談会(通称：U40)の これまでの活動について



高松市創造都市推進懇談会とは

本市が創造性を生かしたまちづくりを推進するに当たり、各方面で活躍している若い世代の意見を聴き、20年後、30年後を見据えたまちづくりを目指していくため、平成24年11月から要綱により設置されている類似機関。

第1期

(平成24年11月30日～
平成26年11月29日)

- 第1次ビジョン策定
- 異業種交流空間創出事業



第2期

(平成26年11月30日～
平成28年11月29日)

- 公開U40



第3期

(平成28年11月30日～
平成30年11月29日)

- 第2次ビジョン策定
- U40プロジェクト事業



第4期

(平成30年11月30日～
令和2年11月29日)

- 6つの事業アイデア



第1期U40(H24.11~H26.11)の主な活動について

●「高松市創造都市推進ビジョン」策定

「第1次高松創造都市推進ビジョン(総論・各論)」(H25.10~H30.3)策定のうち、主に「各論」について御意見をいただく。各論では、創造都市の実現に向けて取り組んでいくための創造的プロジェクトを掲載。

【参考：6つのプロジェクト】

「交流空間」、「食」、「生活工芸」、「祝祭」、「国際会議」、「こども」



●異業種交流空間創出事業

U40からの提案事業。

当時使用されていなかった高松市美術館喫茶室を有効活用し、市民の連携や異業種交流を促すことを目的とした社会実験。夏会期と秋会期の2期間を公募し、秋会期をU40の有志が中心となって設立した「(一社)Coクリエイション」が、「紺屋町カフェ」というネーミングで、「学びの場」をテーマにカフェを展開し、講座やワークショップを開催したほか、庵治石製品や漆器の展示販売などを実施。



第2期U40(H26.11～H28.11)の主な活動について

●公開U40

「食育・学校給食」から「空き家・空き店舗・空地などの活用」まで幅広いテーマを基に議論を実施。様々な議論を経て生み出されたアイデアを、高松らしいまちづくりのプランとして「公開U40」という形で発表を行い、約110人もの傍聴者が参加。また、発表内容『EXTRA（すきま）』の中の『非言語サインの増加』と関連して、空港までのバス乗り場に、飛行機を表す「ピクトグラム」が掲げられるようになる。

【発表内容】

- | | |
|-------------|------------------------------|
| ●ライフスタイルの創造 | 『EXTRA（すきま）』 |
| ●空き家・空き店舗対策 | 『カーペンターズ アンダー アーケード』 |
| ●こども・教育 | 『創造的少子化対策』 |
| ●コミュニティ | 『市役所とのヒトづくり～10,000人で高松を変える～』 |



第3期U40(H28.11~H30.11)の主な活動について

●「第2次高松市創造都市推進ビジョン」策定

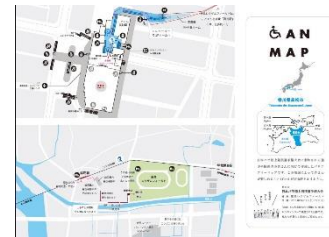
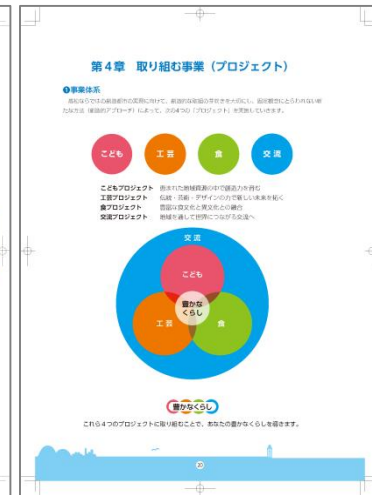
前回のビジョンで位置付けられていた
「6つのプロジェクト」を「4つ」に改編し、
プロジェクトのイメージ図も作成。

【4つのプロジェクト】
「こども」、「工芸」、「食」、「交流」

●U40プロジェクト事業

U40委員自らが企画・発案し自ら取り組んだ
本市の活性化に資する4つの事業。

- パラ陸上事業
(第29回日本パラ陸上競技選手権大会に向けたマップ作成)
- 情報発信事業
(ハッシュタグ「#upTAK」のモニュメント作成等による周知)
- 工芸ウィーク事業
(工芸に特化した期間を作るイベント企画)
- 仕事PJ事業
(「関係人口」層をターゲットにした多様な高松との関わり方の検証)



●6つの事業アイデア

『役所の変革の火種』として、関係部署との意見交換を経て6つの事業アイデアについて二役に提案。

【6つの事業アイデア】

- ことばのバリアフリー～「やさしい日本語」の活用～
- 中高生発 もっと高松プロジェクト
- 「高松から世界へ」本当は身近なパラリンピックの世界
- 工芸×島の食
- 伝統的工芸品の広報物づくり
- 文化施設×ソーシャルインクルージョン



文化施設×ソーシャルインクルージョン

資料館
美術館
図書館

× 社会的包摂

多様な人々を歓迎する
ミュージアムへ



■事業内容

●工芸×島の食

・伝統的工芸品を使った器、箸、カップなどを使える場を提供する

→瀬戸内国際芸術祭の大島のカフェでドリンクを提供する際に漆器を使用など

・島の食材は芸術祭中と重なり提供できるものが少ないため、来年度へ実施に向けて検討したい

●伝統的工芸品の広報物づくり

・SNSで情報を発信する

・「たかまつ工芸ウィーク」Instagramの連携



第5期U40(R2.11～R4.11)の位置付けについて

- これまでの第4期までの活動と同様に、本市が創造的なまちづくりを進めていく上での必要な取組等について、各方面で活躍されている若い世代の立場から様々な御意見やアイデアをいただきたい。
- 第4期の課題として、民間委員や市役所U40とのコミュニケーションが不足したままアイデア出し等を行ったことが挙げられているので、第5期を進めていく上での参考にさせていただきたい。
- なお、第2次高松市創造都市推進ビジョンの計画期間が「平成30年度～令和5年度」であるため、第5期はビジョンの進行管理の期間であるが、第5期任期内でいただいた御意見等についても次期ビジョンの改定の際の参考にさせていただく予定。

【参考】U40の主な関連事項

●第2次高松市創造都市推進ビジョン(平成30年3月策定)

産業、ものづくり、観光、文化・スポーツ、国際交流などに関する施策を一体的に推進しながら、高松の都市ブランドイメージの向上を積極的かつ効果的に図り、「瀬戸の都・高松」の魅力を全世界に発信していくための総合的かつ基本的な指針。

●創造都市推進局(平成24年4月設置)

本市のブランドイメージを確立し、広く発信していくシティプロモーションを積極的に展開するため、産業、ものづくり、文化、観光、スポーツなどに関する施策を一元化する組織。

【産業経済部】産業振興課、農林水産課、土地改良課、競輪場事業課、市場管理課

【文化・観光・スポーツ部】観光交流課、文化芸術振興課、文化財課、スポーツ振興課、美術館美術課

●高松市創造都市推進審議会(平成24年9月設置)

商工業、農林水産業をはじめとする産業の活動と文化芸術活動等を豊かな創造性を通じて融合させることにより、本市のまちづくりに新しい魅力と活力を生み出し、もって創造都市の実現に寄与するため条例によって設置された組織。